

第2部課程第168期（平成25年10月22日～12月27日）

課 目 名	今後の防災・危機管理対策
時 限 数	2時限
担 当 講 師	氏名 室崎益輝 ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長 ＜プロフィール＞ 1969年4月 京都大学大学院工学研究科修士課程修了 1987年10月 神戸大学工学部教授 1998年4月 神戸大学都市安全研究センター教授 2004年4月 独立行政法人消防研究所理事長 2006年4月 総務省消防庁消防大学校消防研究センター所長 2008年4月 関西学院大学総合政策学部教授（～2012年3月まで） 2010年4月 ひょうごボランティアプラザ所長（現在に至る） 2012年4月 ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長（現在に至る） 2013年10月 兵庫県立大学防災教育センター長（現在に至る）
ね ら い	阪神・淡路大震災と東日本大震災の経験の中から、わが国の防災行政は、そのあり方を大きく転換する必要に迫られている。ここでは、その転換の方向性を、「減災」と「危機管理」というキーワードに即して、具体的に考察することにした。さらにその考察を踏まえ、自治体の防災対策や防災計画のこれからのあり方を考える。
講 義 概 要	1. 大震災の教訓 関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災の3つの大震災から引き出される、臨機応変や自立連携などの主な教訓に触れる。 2. 危機管理について 危機や危機管理の概念に触れつつ、危機管理の要点を述べる。 3. 減災について 減災の概念とその具体化としての対策の総合化の方向性を示す。 4. 防災計画の見直しについて 自治体の地域防災計画で見直すべき課題を提示する。
受講上の注意	自ら属する自治体の地域防災計画の内容を念頭に置きながら聴講すること。
使 用 教 材	講義レジメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

